

平成29年度 教育委員会
自己点検報告書

平成30年6月

香南市教育委員会

目次

点検及び評価の概要	1
自己点検及び評価の構成	2
平成 29 年度実績評価一覧表	3
1. 教育委員会の活動	6
(1) 教育委員会の会議	6
(2) 教育委員会と事務局との連携	6
(3) 教育委員の自己研鑽	7
(4) 支援・条件整備	7
(5) 広報・情報公開	8
2. 教育委員会が管理・執行する事務	10
(1) 香南市教育行政の基本方針を定めること	10
(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関する事	10
(3) 教科用図書採択及び教材使用に関する事	10
(4) 教育委員及び事務局職員の任免その他の人事に関する事	10
(5) 香南市立学校教職員の異動方針・異動に関する事	11
(6) 教育委員会の附属機関等の委員の委嘱に関する事	11
(7) 教育予算その他、議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	11
(8) 児童生徒の就学すべき学校の校区を設定し、又はこれを変更すること	12
(9) 教育委員会条例・規則等の制定又は改廃に関する事	12
(10) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関する事	12
(11) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 1 項の規定による点 検及び評価に関する事	12
3. 管理・執行を教育長に委任する事務	13
(1) 生きる力を育む就学前・学校教育の推進	13
1) 保幼小中連携（一貫）教育の推進	13
① 保幼小中連携の推進	13
2) 家庭や地域と連携した教育の推進（チーム学校の取組）	14
① 厳しい環境にある子どもたちへの支援	14
② 学校組織マネジメント力の強化	15
③ 不登校の改善	16
④ 子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築	17
⑤ 家庭の教育力の向上	18
⑥ 放課後の子どもの生活・学習支援の充実	19
3) これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進	20
① 就学前教育の推進	20
② 確かな学力の育成	21
③ 豊かな心の育成	22
④ キャリア教育の推進	23
⑤ 人権教育の推進	24
⑥ 健やかな体の育成と健康の増進	24
⑦ 特別支援教育の推進	25
4) きめ細かな教育の推進	26

①教職員の専門性・指導力の向上	26
②保育所・学校運営の充実	27
③生徒指導の充実	27
④教育相談・支援体制の充実	28
5) 安全な教育環境での教育の推進	29
①防災教育等の推進	29
②保育所・幼稚園・学校の環境整備	30
(2) 生き生きと学ぶ生涯学習の推進	31
1) 生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり	31
①ライフステージに対応した学習の充実	31
②生きがいを得る学習機会の充実	32
③現代課題に対応した学習機会の充実	32
④学習施設の整備	33
⑤地域に密着した学習の場の提供	34
⑥生涯学習推進組織の整備	34
⑦情報提供・相談機能の強化	34
⑧指導者の育成・人材活用	35
⑨生涯学習を通じての地域づくり	35
⑩全ての人と共生する生涯学習の推進	36
2) 文化の継承と振興	36
①芸術・文化活動の推進	36
②郷土の歴史・文化遺産の保存と継承	37
3) 生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興	38
①生涯スポーツ・競技スポーツの推進	38
②スポーツ環境の充実	39
③スポーツ指導員の養成・人材活用	39

点検及び評価の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を実施することが義務づけられました。

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び教育委員会事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務の効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任があります。

このため、教育委員会の運営及び事務局の事務執行の状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検評価を行うこととし、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

本報告書は、平成29年度香南市教育行政方針と対比し、方針に対しての達成状況を明確にすることで、具体的に達成状況が判断できるようにいたしました。

また、点検・評価は、客観性を確保するため学識経験者の意見・助言を受け、教育委員会で審議し、「平成29年度教育委員会自己点検報告書」としてまとめ公表することとします。

自己点検及び評価の構成

1) 項目

自己点検・評価は、「1. 教育委員会の活動」、「2. 教育委員会が管理・執行する事務」、「3. 管理執行を教育長に委任する事務」の3つの大項目で構成し、必要に応じて細分化し、項目毎に点検・評価を行いました。

2) 目標

目標は、平成29年度香南市教育行政方針を基に目標を掲げました。

3) 取組の概要

各項目の目標達成に向けて、平成29年度に実施した主な取組を掲示しています。

4) 点検・評価の方法

点検評価にあたっては、平成29年度の施策の進捗状況や今後の課題等項目ごとに評価をし、ランク付けを行いました。評価の判断基準は次のとおりです。

評 価	判 断 基 準
5	目標を特別大きく上回る成果が得られた
4	目標を上回る成果が得られた
3	目標どおりの成果が得られた
2	一定の効果が上がっているが改善の必要がある
1	成果が得られず見直しの必要がある

5) 学識経験者の意見

点検結果に対して、学識経験を有する方から評価、ご意見、ご助言をいただきました。

氏 名	役 職
中村 直人	高知工科大学教授

平成29年度 評価一覧表

大項目	中項目	小項目	点検 評価	
1. 教活 育動 委 員 会 の	(1) 教育委員会の会議	① 開催状況	3	
		② 運営上の工夫	3	
	(2) 教育委員会と事務局の連携		3	
	(3) 教育委員会の自己研鑽		3	
	(4) 支援・条件整備	① 学校訪問・支援	3	
		② 所管施設訪問・支援等	3	
(5) 広報・情報公開		3		
2. 教す 育る 委事 員務 会 が 管 理 ・ 執 行	(1) 香南市教育行政の基本方針を定めること		3	
	(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること		3	
	(3) 教科用図書の採択及び教材使用に関すること		3	
	(4) 教育委員及び事務局職員の任免その他の人事に関すること		3	
	(5) 香南市立学校教職員の異動方針・異動に関すること		3	
	(6) 教育委員会の附属機関等の委員の委嘱に関すること		3	
	(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること		*	
	(8) 児童生徒の就学すべき学校の校区を設定し、又はこれを変更すること		3	
	(9) 教育委員会条例・規則等の制定又は改廃に関すること		3	
	(10) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること		3	
	(11) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号） 第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること		3	
3. 管教す 理育る ・長事 執に務 行委 を任	(1) 生きる 力を育む就 学前・学校 教育に関す ること	1) 保幼小中連携（一貫）教育の推進	/	
		①保幼小中連携（一貫）教育の推進	3	
		2) 家庭や地域と連携した教育の推進（チーム学校の取組）		/
		①厳しい環境にある子どもたちへの支援		3
		②学校の組織マネジメント力の強化		3
		③不登校の改善		3
		④子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築		3
		⑤家庭の教育力の向上		3
⑥放課後の子どもの生活・学習支援		3		

	3) これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進	
	①就学前教育の推進	3
	②確かな学力の育成	3
	③豊かな心の育成	3
	④キャリア教育の推進	3
	⑤人権教育の推進	3
	⑥健やかな体の育成と健康の増進	3
	⑦特別支援教育の推進	3
	4) きめ細かな教育の推進	
	①教職員の専門性・指導力の向上	3
	②保育所・学校運営の充実	3
	③生徒指導の充実	3
	④教育相談・支援体制の充実	3
	5) 安全な教育環境での教育の推進	
	①防災教育等の推進	3
	②保育所・幼稚園・学校の環境整備	3
(2) 生き生きと学ぶ生涯学習の推進	1) 生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり	
	①ライフステージに対応した学習の充実	3
	②生きがいを得る学習機会の充実	3
	③現代課題に対応した学習機会の充実	3
	④学習施設の整備	3
	⑤地域に密着した学習の場の提供	3
	⑥生涯学習推進組織の整備	3
	⑦情報提供・相談機能の強化	3
	⑧指導者の育成・人材活用	3
	⑨生涯学習を通じての地域づくり	3
	⑩全ての人と共生する生涯学習の推進	3

	2) 文化の継承と振興	
	①芸術・文化活動の推進	3
	②郷土の歴史・文化遺産の保存と継承	3
	3) 生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興	
	①生涯スポーツ・競技スポーツの推進	3
	②スポーツ環境の充実	3
	③スポーツ指導員の養成・人材活用	3

※評価・判断基準

5：目標を特別大きく上回る成果が得られた

4：目標を上回る成果が得られた

3：目標どおりの成果が得られた

2：一定の成果が上がっているが改善の必要がある

1：成果が得られず見直しの必要がある

開かれた教育行政をめざして

1. 教育委員会の活動

[目標]

1. 開かれた教育行政の充実に努める。
2. 教育委員会、事務局、学校その他の教育機関との連携を密にし、情報意見交換を積極的に行い、円滑な教育行政の推進に努める。
3. 教育委員としての自覚を持ち、研修に努め、重要かつ基本的な事務処理を適切に行う。

(1) 教育委員会の会議

① 開催状況

会議名	回数	議案件数	報告件数
定例会	11回	58件	2件
臨時会	1回	23件	1件
計	12回	81件	3件

点検評価

3

② 運営上の工夫

議案・資料を会議1週間前までに受取り、内容を事前に確認し、積極的な意見交換が行えるよう努めるとともに、余裕のある会議時間を設定し十分な審議が出来るように努めた。

点検評価

3

(2) 教育委員会と事務局との連携

適宜、協議や意見交換を行いながら、一層の連携が図れるよう努めた。市教委主催の研修会や講演会に積極的に参加し、事務局職員との連携を深めた。

点検評価

3

(3) 教育委員の自己研鑽

研修会への参加や時報「市町村教委」を定期購読し、自己研鑽に努めた。

開催日	内 容	場 所
H29. 10. 13	市町村教育委員会連合会研修会 『コミュニティ・スクールについて』 『高知県教育委員会の行政説明』	高知会館
H30. 1. 12	高知県新任市町村教育委員・教育長合同研修会 『高知県教育委員会の教育施策について』 『家庭の中のSNSルールづくりについて』	高知会館
H30. 2. 9	高知県市町村教育委員会連合会定期総 及び研修会 『高知県の学力向上に向けての市町村教育委 員会と学校との連携』	高知会館

点検評価
3

(4) 支援・条件整備

①学校訪問・支援

計画訪問を、市内すべての公立保育所、幼稚園及び小・中学校で実施し、学校等の経営や教育・保育内容に対する助言・指導を行うとともに、課題解決に対する支援を行った。

訪問日	保育所名
H29. 7. 19	吉川みどり保育所
H29. 7. 25	赤岡保育所
H29. 7. 26	香我美おれんじ保育所
H29. 10. 16	佐古保育所
H29. 10. 18	夜須保育所
H29. 10. 24	野市東保育所
H29. 10. 26	野市保育所

訪問日	幼稚園名
H29. 6. 6	野市幼稚園
H29. 7. 10	香我美幼稚園
H29. 7. 18	夜須幼稚園
H29. 9. 28	野市東幼稚園
H29. 10. 25	のいち幼稚学園

訪問日	小学校名
H29. 6. 22	夜須小学校
H29. 6. 22	野市東小学校
H29. 6. 23	野市小学校
H29. 6. 27	香我美小学校

訪問日	小学校名
H29. 6. 29	吉川小学校
H29. 6. 30	佐古小学校
H29. 7. 3	赤岡小学校
H29. 10. 27	岸本小学校

訪問日	中学校名
H29. 5. 15	野市中学校
H29. 6. 5	夜須中学校
H29. 6. 23	香我美中学校
H29. 10. 10	赤岡中学校

点検評価
3

②所管施設訪問・支援等

所属施設の入学・入園式、卒業・卒園式、運動会等での告辞・祝辞及び行事参加等を実施した。

教育支援センター森田村塾の訪問を実施し、不登校児童生徒に関する支援を行った。

点検評価
3

(5) 広報・情報公開

広報「こうなん」による情報発信を行った。

掲載月	内 容
4月号	エンジョイスポーツ 香南市美術展覧会 卒業式 就学援助のお知らせ としょかんナビ
5月号	エンジョイスポーツ 香南市教育振興基本計画後期計画 就学援助費のお知らせ 中央公民館の催し案内 としょかんナビ
6月号	としょかんナビ

7月号	夏ナビ2017 としょかんナビ
8月号	としょかんナビ 香南いきいきセミナー
9月号	香南市こども議会 香南市小学校水泳記録会 としょかんナビ
10月号	きょういくチャンネル 幼稚園・保育所申込みのご案内 香南市子育て親育ち講演会 としょかんナビ
11月号	エンジョイスポーツ きょういくチャンネル エンジョイスポーツ としょかんナビ 香南いきいきセミナー
12月号	エンジョイスポーツ 児童クラブ申込みのご案内 香南っ子夢実現プロジェクト としょかんナビ
1月号	こどもよさこい沖縄へ 入学通知書のお知らせ エンジョイスポーツ としょかんナビ
2月号	香南市成人式 きょういくチャンネル エンジョイスポーツ としょかんナビ
3月号	エンジョイスポーツ きょういくチャンネル 香南の文化力 としょかんナビ

点検評価

3

2. 教育委員会が管理・執行する事務

[目標]

議案を研究・精査し、適切な処理に努める。

(1) 香南市教育行政の基本方針を定めること

香南市教育振興基本計画後期計画に基づき「平成29年度教育行政方針」を定めた。

点検評価

3

(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること

平成29年度は、当該案件はなかった。

点検評価

*

(3) 教科用図書の採択及び教材使用に関すること

平成30年度に、香南市立小学校において使用する教科用図書を選定し、香南・香美地区教科用図書採択協議会に報告。

点検評価

3

(4) 教育委員及び事務局職員の任免その他の人事に関すること

教育委員会の意向を反映した人事配置がなされた。

- ・香南市教育委員長の選挙について (平成29年第6回教育委員会)
- ・香南市教育委員長の職務代理者の指定について (平成29年第6回教育委員会)
- ・平成30年4月1日付け香南市立保育所・幼稚園職員の人事異動方針について (平成30年第3回教育委員会)
- ・平成30年4月1日付け香南市教育委員会事務局職員の人事異動方針について (平成30年第4回教育委員会臨時会)

点検評価

3

(5) 香南市立学校教職員の異動方針・異動に関すること

高知県教育委員会及び香南市教育委員会の異動方針に基づき配置がなされた。

- ・教職員の人事異動について (平成30年第3回教育委員会定例会)

点検評価
3

(6) 教育委員会の付属機関等の委員の委嘱に関すること

担当課からの推薦等に基づき、教育委員会で審議し配置がなされた。

- ・香南市教育振興基本計画推進協議会委員の委嘱・任命について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市保幼小中学校食育推進検討委員会委員の委嘱・任命について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市立給食センター運営委員会委員の委嘱・任命について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市夜須中央公民館運営委員の委嘱・任命について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市立幼稚園における学校評議員の委嘱について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市立保育所における学校評議員の委嘱について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市立小中学校における学校評議員の委嘱について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市マリンスポーツ振興協議会委員の委嘱・任命について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱・任命について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市教育研究所運営委員会委員の委嘱・任命について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市社会科副読本等編集委員会委員の委嘱について (平成29年第7回教育委員会定例会)
- ・香南市コミュニティ・スクール設置推進委員の委嘱について (平成29年第8回教育委員会定例会)
- ・香南市放課後子どもプラン運営委員会委員の委嘱・任命について (平成29年第9回教育委員会定例会)
- ・香南市立赤岡中学校コミュニティ・スクール設置推進委員の委嘱について (平成29年第9回教育委員会定例会)
- ・香南市立岸本小学校・香我美小学校統合準備会委員の委嘱・任命について (平成29年度10回教育委員会定例会)
- ・香南市学校等の規模適正化等検討委員会委員の委嘱・任命について (平成29年第11回教育委員会定例会)
- ・香南市子ども子育て会議委員の委嘱・任命について (平成29年第12回教育委員会定例会)
- ・香南市岸本コミュニティセンター館長の委嘱について (平成29年第13回教育委員会定例会)
- ・香南市外国語指導助手業務委託業者選定委員会委員の任命について (平成29年第13回教育委員会定例会)
- ・香南市立野市小学校コミュニティ・スクール設置推進委員の委嘱について (平成30年第1回教育委員会定例会)
- ・香南市立赤岡小学校学校運営協議会委員の委嘱・任命について (平成30年第3回教育委員会定例会)

点検評価
3

(7) 教育予算その他、議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること

平成29年度は、事務局提案以外で市長に申し出の案件がなかった。

点検評価
*

(8) 児童生徒の就学すべき学校の校区を設定し、又はこれを変更すること

香南市立小中学校及び幼稚園の通学区域に関する規則の一部を改正する規則

点検評価
3

(9) 教育委員会条例・規則等の制定又は改廃に関すること

香南市立岸本小学校・香我美小学校統合準備会設置要綱について他14件

点検評価
3

(10) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること

香南市学校等の規模適正化等検討委員会条例の制定について他11件

点検評価
3

(11) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること

・平成28年度(平成28年度実績)教育委員会自己点検・外部評価報告書について

点検評価
3

3. 管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 生きる力を育む就学前・学校教育の推進

1) 保幼小中連携（一貫）教育の推進

重点目標

①保幼小中連携（一貫）教育の推進

[取組の概要]

①保幼小中・家庭・地域連携（一貫）教育の推進

- 「香南市保幼小中連携カリキュラム」及び「香南市保幼小中連携（一貫）プログラム」に基づく保幼小中連携（一貫）教育を推進し、子どもたちが保育所・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校への接続を円滑にするとともに、コミュニケーション能力、規範意識、自尊感情を高めるよう努めた。
- 香南市保幼小中連携子育て・教育推進事業（9の事業）のねらいに沿った取組を計画的に進めた。
- 香南市保幼小中連携子育て・教育推進事業の進行管理・指導、成果・課題等を協議し、子育て・親育ちの推進を図った。
- 子どもたちの基本的な生活習慣や自己肯定感等、人としての素養を育成するとともに、併せて親として望ましい子育てを支援した。
- 小学校5、6年生へ専科制や授業相互乗り入れを実施し、小中学校を通じた連続性のある教育を行い、学力問題や生徒指導諸問題の解消に努めた。
- 香南市教育研究所を中心に、学校と連携した効果的な授業研究や校内研修を推進するとともに、教職員を対象に保幼小中・家庭・地域連携（一貫）教育に関するアンケート調査を実施した。
- 夜須中学校区の保幼小中で夜須中学校区連携（一貫）推進事業に取り組んだ。
- 子ども議会の開催などにより、香南市のまちづくりなどについて考えることで、市政への参加や理解を深めるとともに、子どもの社会参画への態度や意欲を高める取組を進めた。

【成果】

○アンケート結果より

「中学校に入学することで楽しみにしていることがありますか」の質問項目において「ある」と答えた児童が昨年度と比較して増加した。また、「中学校入学にあたり、心配なことはありますか」との質問項目において「ない」と答えた児童についても増加した。（市内全小学校6年生へのアンケート）

小学校では「自尊感情」を表す全ての項目で、昨年度から上昇の傾向が見られ、「規範意識」についても、ほとんどの項目で上昇している。中学校でも「自尊感情」の項目で上昇が見られた。（道徳意識調査でのアンケート）

また、夜須中学校校区の保護者対象のアンケートでは、ほとんどの保護者が保幼小中一貫教育に肯定的である。

○中学校区連携部会では、中学校区ごとの課題に応じた合同研修、合同授業研を行うことが増え、連携の資質向上が図られた。

1)-①の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
交流活動を組織として位置付ける (よくできた、できたと回答した割合) ¹	31%	目標 60.0% 実績 41.0%	80%以上
交流活動の際、育てたい力の共通理解 (よくできた、できたと回答した割合) ²¹	51%	目標 60.0% 実績 56.0%	80%以上

点検評価
3

2) 家庭や地域と連携した教育の推進 (チーム学校の取組)

<p>重点目標</p> <p>①厳しい環境にある子どもたちへの支援</p> <p>②学校の組織マネジメント力の強化</p> <p>③不登校の改善</p> <p>④子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築</p> <p>⑤家庭の教育力の向上</p> <p>⑥放課後の子どもの生活・学習支援の充実</p>

[取組の概要]

①厳しい環境にある子どもたちへの支援

- チャレンジ塾等の学習機会を充実し、子どもの育ちを促し、学力向上につながる取組の充実を図った。
- 経済的に厳しい児童生徒の給食費や学用品費などの費用を援助した。
- 保護者を対象とした子育て講演会を実施し、家庭教育力の向上を図った。
- 各所属所で実施される保護者会に、地教委が出向き、香南市の教育について説明を行い、共有しながら、家庭と連携した子育ての充実を図った。

【成果】

- チャレンジ塾は2箇所の開設であったが、学習機会を設けることにより、学習内容だけでなく学習習慣定着へのきっかけづくりや進路への意欲づけにつなげることができた。
- SSW の活用などにより児童生徒と学校、家庭間の情報共有や連携をすすめることができ、児童生徒への支援につなげることができた。

- 就学支援制度などについて学校との連携や協力により、制度の周知徹底や該当もれを防ぐための取組が推進できた。
- 保育所・幼稚園ごとに企画した講演会と香南市全体の就学前の子どもを持つ保護者を対象とした講演会を実施し、家庭教育力の向上が図れた。
- 保育所・幼稚園の保護者会において、「香南市の教育について」の説明を行い、保幼小中・家庭・地域連携教育の理解を深めることができた。

2)-①の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
香南市チャレンジ塾の開設数	2 教室	目標 2 教室 実績 2 教室	4 教室
子育て親育ち講演会への参加者数	596 人	目標 610 人 実績 442 人	650 人以上

点検評価
3

②学校の組織マネジメント力の強化

- 学校経営計画をもとに、取組状況や成果を点検・検証し外部の専門家や地域の人材の力を活用しながら取組を推進した。
- 所属長会・副所属長会などにおいて、必要に応じマネジメントに関する研修を実施し、資質の向上に努めた。
- 個々の教員の授業力向上を図るとともに、全教職員が教科の壁、学級や学年の壁を越えて相互に協議し、組織的な授業改善や生徒指導につなげた。
- 研究主任や情報教育担当者など、各教職員が個々の役割を十分に理解し、力を発揮する学校づくり推進のため、各担当者会を実施した。
- 「チーム学校」を構築するためのチェックシートを活用し、チーム力に関する取組を評価し、今後へつなげるPDCAサイクルの取組の充実を図った。
- 近隣の大学や職業能力開発短期大学校、高等専門学校など専門的な知識や技術を持った関係機関との連携や専門性を活用した取組を推進した。

2)-②の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合（「よく行っている」と回答した学校の割合） ¹	小学校 50.0% 中学校 75.0%	目標 小学校70% 中学校80% 実績 小学校100% 中学校100%	小学校70%以上 中学校80%以上
学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している学校の割合（「よく行っている」と回答した学校） ¹	小学校 75.0% 中学校 50.0%	目標 小学校85% 中学校75% 実績 小学校100% 中学校100%	小学校100% 中学校100%

点検評価
3

③不登校の改善

- スクールソーシャルワーカーを配置し、保育所・幼稚園・学校と教育支援センター「森田村塾」、医療や福祉等の関係機関と連携を図り、子どもや保護者に対する支援の充実を図った。
- さまざまな要因で悩みを抱える子どもや保護者、教職員への教育相談（こども相談室・ほのぼの相談・ケースカンファレンス²）の実施や、スクールカウンセラー等の配置など、支援体制の充実を図った。
- 教育支援センター「森田村塾」において、不登校等の子どもの居場所づくりを充実するとともに、学校との連携を密にし、学校生活への復帰を支援した。
- 子どもたちが、安心して学校生活をおくることができるように、各学校が、児童生徒理解を深め、温かい学級づくりに取り組めるようQ-Uアンケートやいじめ調査等を実施し、その活用を促進した。

【成果】

- スクールソーシャルワーカーの連絡会を定期的開催し、事例対応などへの検討を行ったり、スキルアップにつなげるため相互アドバイスなどを行うことにより、児童生徒や家庭支援の充実につながった。
- 教育相談などの支援制度をフル活用でき、学校が課題としていることなどに対して支援ができた。

¹ 全国学力・学習状況調査（学校質問紙）結果より

² 実際にあった事例を用いて携わっている人が集まり検討する会議

対策(2)-③の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
不登校児童・生徒の割合 (不登校児童・生徒数/ 総児童・生徒数)	小学校 1.31% 中学校 5.03%	目標 小学校 0.90% 中学校 5.00% 実績 小学校 1.31% 中学校 5.17%	小学校 0.50%以下 中学校 3.50%以下

点検評価
3

④子どもが育ちやすい地域コミュニティの再構築

- 積極的な情報発信や学校評価の実施により、地域に根ざした特色ある学校づくりに努めた。
- 管内5カ所で学校支援地域本部事業に取組み、地域と連携した教育を推進するとともに、他地域にもその取組の成果を広げた。
(夜須中学校区、赤岡小学校、吉川小学校、野市東小学校・野市小)
- コミュニティ・スクール導入等促進事業の実施(赤岡小・赤岡中・野市小)
- 市内全小中学校で土曜日等授業を3回実施した。
- こうなんファミリーサポートセンターを開設し、安心して子育てができるような住民同士の相互援助活動の取組を進めた。

【成果】

- 学校支援地域本部事業の取組については、本年度1校増、平成30年度も1校増の予定。
- 事業に取り組んだ各学校は、それぞれに昨年度より取組が進んだ。とりわけ赤岡小学校は県内のリーダー校に選ばれる評価を得て、様々な研修会で事例発表し県全体の教育向上に貢献した。
- 仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができる環境づくりを充実させるため、こうなんファミリーサポートセンター事業を実施して、子育てを住民同士が協力・支援する取組を進めた。
- 子どもたちの「生きる力」の育成をめざし家庭・地域と連携した土曜日等授業を推進した。

2)-④の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
こうなんファミリーサポートセンター 会員数	30人 (H29.1.18現在)	目標 50人 実績 56人	150人以上

市の子育て情報サイトへのアクセス数 ¹	—	目標 4,000回 実績 4,328回	6,000回以上
学校支援地域本部設置数	4校 (1中学校区を含む)	目標 6校 実績 6校	12校
コミュニティ・スクール設置数	0校	目標 1校 実績 0校	12校

点検評価
3

⑤家庭の教育力の向上

- 家庭教育学級や子育て講座などを開催し、家庭の教育力向上を図るとともに、子育て支援センターの充実やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの活動を通して、さまざまな不安や悩みを持つ保護者に対する子育て相談や援助などを行った。
- 子どもたちの基本的な生活習慣を身に付けさせ、自尊感情等を育成するため、親として望ましい子育てについて啓発を行うとともに、絵本の読み聞かせ等を通じた親子のふれあいを支援した。

2)-⑤の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
不登校児童・生徒の割合【再掲】	小学校 1.31% 中学校 5.03%	目標 小学校 0.90% 中学校 5.00% 実績 小学校 1.31% 中学校 5.17%	小学校 0.50%以下 中学校 3.50%以下
毎日朝食を食べる児童生徒の割合 (3歳児・小学6年生・中学3年生) ²	保・幼 95.3% 小学校 87.3% 中学校 91.8%	目標 保・幼 96.0% 小学校 89.0% 中学校 86.0% 実績 保・幼 96.2% 小学校 85.9% 中学校 82.7%	保・幼 98.0%以上 小学校 96.0%以上 中学校 90.0%以上
子育て親育ち講演会への参加者数 (再掲)	596人	目標 610人 実績 442人	650人以上

点検評価
3

¹ 香南市人生支援計画より

² 香南市食育推進計画より

⑥放課後の子どもの生活・学習支援の充実

- 学校支援地域本部事業等により支援員を配置し、小中学校で放課後学習に取り組んだ。
- 子どもたちの健やかな育ちと豊かな学びを支援するため、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の支援員等の研修機会を確保し、資質向上を図った。
放課後児童支援員認定資格研修（13名）
放課後児童支援員研修（6回、延べ155名）

【成果】

- 年間を通して学習支援者を配置し、継続的に学習をサポートすることで、放課後の学習習慣が定着してきた。
- 研修に参加することで、職務を遂行するうえで必要な知識及び技能の習得と、その実践の基本的な考え方や心得を学ぶことができた。

2)-⑥の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
放課後児童クラブの利用者数 ¹	336 人	目標 — 実績 375 人	—
放課後児童クラブ、放課後子ども教室の 指導員等研修会実施回数	6 回	目標 6 回 実績 6 回	6 回

点検評価
3

¹ 香南市子ども・子育て支援計画より

3) これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進

重点目標

- ①就学前教育の充実
- ②確かな学力の育成
- ③豊かな心の育成
- ④キャリア教育の推進
- ⑤人権教育の推進
- ⑥健やかな体の育成と健康の増進
- ⑦特別支援教育の推進

[取組の概要]

①就学前教育の充実

- 日常的な学校経営や保育所・幼稚園経営に係る諸問題について研修を深め、その望ましい解決策を探り、管理職としての経営能力の向上を図った。

副所属長研修（2回、24名）

- 保育及び幼稚園教育の中核を担う中堅教職員に対して研修を実施し、保育所及び幼稚園の質的向上及び次期管理職の育成を図った。

中堅保育士研修（1回、28名）

- 保育所・幼稚園に保護者支援相談員を配置し、さまざまな悩みや課題を持つ保護者に対する子育て相談・指導などを行い、子育て支援に努めた。

- 就学前の子どもがいる保護者に対して、市内5ヵ所の子育て支援センターにおける子育て・親育ち講演会の開催や、市内全域を対象とした講演会を開催し、親として望ましい子育てを支援した。

子育て支援センターでの育児学級等講習会（60回、725家庭）

香南市子育て親育ち講演会（1回、83名）

- 県指定のブロック別研修会を指定保育所で7回、フォローアップ研修を1保育所で6回行い、年間を通じた研修により職員の資質向上に努めた。

【成果】

- 年間を通じた研修会実施により前回の学びに次の学びを積み上げるなかで、園内で成果と課題を共有し組織で保育を作る意識の高まりと保育者の質の向上となった。

- 県指定のブロック別研修及び次年度のフォローアップ研修を行い、香南ブロックにおける主体的な実践研修のためのネットワーク化の推進とミドルリーダーの育成に努めた。また、園の組織力アップを図り保育者の資質向上と保育の充実につながった。

3)-①の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の目標数値
市職員研修及び園内研修の実施回数	52回	目標 52回以上 実績 62回	52回以上

子育て支援センター利用者数 ¹	4,811 人	目標 5,800 人 実績 8,171 人	7,000 人以上
----------------------------	---------	--------------------------	-----------

点検評価
3

②確かな学力の育成

- 子どもたちが学習の意義や大切さに気づき、自ら進んで取り組み、考え行動できる学習活動を推進するため「できる・わかる・楽しい授業」の取組を全校で行った。
- 到達度把握調査（標準学力調査）を小学校2年から中学校3年まで実施し、結果分析をするとともに、分析に基づく授業改善に努めるよう指示した。
- 各小中学校の実態に応じて非常勤講師、生活・学習支援員を配置し、複数の教員による児童生徒一人ひとりに応じた少人数指導の授業、専科の教員による専門性の高い授業を行った。（非常勤講師4名、生活・学習支援員8名）
- 高知県教育委員会の指定事業として教育課程拠点校事業（野市小学校）、中学校組織力向上のための実践研究事業（野市中学校）、中学校教科間連携による授業力向上実践研究事業（赤岡中学校）、探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業（赤岡小学校）に取り組んだ。
- 外国語教育担当者会を年間3回開催し、新学習指導要領実施の準備を進めるとともに、小小連携・小中連携による小・中学校の英語教育の充実を図った。
- 外国語指導助手（ALT）の活用により、それぞれの発達段階に応じた外国語指導の充実と異文化理解を促進した。
- 赤岡中学校、野市中学校、香我美中学校の生徒を対象にチャレンジ塾を実施した。
- 教育課題のある学校に対して生活・学習支援員を配置し、学力問題や生徒指導上の諸問題の解消に努めた。
- 香南市ICT活用実践指定に係る研究発表会、香南市ICTスキルアップ研修会（2回）を実施し、ICT機器の利活用を考えた授業づくりの取り組みを進めた。

【成果】

- 平成29年度全国学力・学習状況調査では、小学校は国語B・算数Aは全国平均を上回り、国語A・算数Bは全国平均を少し下回っている。中学校では国語AB・数学ABともに全国平均を下回ったものの国語ABに関しては全国平均に近い数値となった。
- ICT機器の導入については、パソコン室の児童用パソコンに2in1を導入し、タブレットとして学校外へ持ち出し活用できるよう設置した。先生方も授業の中でICT機器を活用できるようになり、授業改善に向けた動きが動きはじめた。
- 15歳の出口を見据えた学力の定着に向けて、どのような力をつけるのか共通認識することができた。

¹ 子ども・子育て支援計画より

3)-②の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している学校の割合（「よく行っている」と回答した学校）【再掲】	小学校 75.0% 中学校 50.0%	目標 小学校 85% 中学校 75% 実績 小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%
ICT 機器を活用した校内授業研修の実施	75.0%	目標 100% 実績 100%	100%
言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んでいる学校の割合（「よく行っている」と回答した学校の割合） ¹	小学校 37.5% 中学校 75.0%	目標 小学校 60% 中学校 80% 実績 小学校 25% 中学校 50%	小学校 100% 中学校 100%

点検評価

3

③ 豊かな心の育成

- 各校の道徳推進教師による道徳教育担当者会を年間3回開催し新学習指導要領で教科化された「特別の教科 道徳」趣旨理解と評価方法などについて研修を行った。
- 道徳意識調査及びチェックシートを実施し、自尊感情や生活習慣、人間関係や規範意識、それぞれの高まり具合を継続的に調べ取り組みの指標とした。
- 学校図書館支援員を小中学校に配置し、読み聞かせ、読書環境の整備、貸し出し業務などを行い、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力と創造力を豊かなものにする読書活動を推進した。
- 社会科副読本「香南の暮らし」を活用して地域の暮らしや歴史、文化について知識や経験を深める教育を推進した。

【成果】

- 香南市内全小中学校で取り組んだ道徳教育地域連携事業の成果を受け継続的に市ぐるみで授業改善の取り組みを進めたことにより、道徳の時間への意識が高まり、教師自身の苦手意識が軽減された。また、継続して講師招聘や校種間の連携をとることで、発達段階に応じた発問の設定や資料解釈ができ、めざす道徳の授業について研修を深めることができた。
- 社会科副読本「香南の暮らし」の作成にあたって小学校教諭が編集委員となり、第3版の副読本に沿った指導書（カリキュラム）の改訂を行った。作業を通して単元や授業の構想力向上につながった。

¹ 全国学力・学習状況調査（学校質問紙調査）結果より

3)-③の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
自分にはよいところがあると思うか。（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合） ¹	小学校 77.7% 中学校 61.1%	目標 小学校 80.0% 中学校 70.0% 実績 小学校 76.5% 中学校 65.8%	小学校 80%以上 中学校 70%以上
将来の夢や目標を持っているか。（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合） ¹	小学校 88.9% 中学校 64.5%	目標 小学校 95.0% 中学校 85.0% 実績 小学校 72.1% 中学校 75.0%	小学校 95%以上 中学校 85%以上

点検評価

3

④キャリア教育の推進

- 子どもの発達段階に応じて、家庭教育、幼児教育、学校教育、生涯学習（社会教育）が連携して、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を育成するとともに、将来の生き方を考え、自己実現が図れるように支援した。
- 地域のさまざまな人との交流をとおして体験的な職業理解、職場体験学習などを行うことで、仕事や社会人としての生き方について考え、将来に向けての自分らしい生き方に向かう態度を育てた。
- 地域の事業所などの協力を得て、中学生を中心として、職場体験学習を推進し、職業に関する理解を深めるとともに、地域社会を支える仕事や産業についての理解を深めた。
- 子ども議会を開催などにより、香南市のまちづくりなどについて考えることで、市政への参加や理解を深めるとともに、子どもの社会参画への態度や意欲を高める取組を進めた。

【成果】

- 多くの学校で地域の人との連携や地域人材の活用をするなかで、地域の産業理解を深めたり、児童生徒の職業に関する知識や意識を高めることと自立意識の向上につながられた。
- 子ども議会を開催する取組の中で、社会の仕組みや行政の働きなどを学習する機会となり、参政意識や社会参画意識を高めることができた。

3)-④の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
将来の夢や目標を持っているか。（「当てはまる」「どちらかといえ	小学校 88.9% 中学校 64.5%	目標 小学校 95.0% 中学校 85.0%	小学校 95%以上 中学校 70%以上

¹ 全国学力・学習状況調査「児童・生徒質問紙調査」結果より

ば当てはまる」と回答した割合)【再掲】		実績 小学校 72.1% 中学校 75.0%	
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦しているか。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合)	小学校 78.8% 中学校 68.3%	目標 小学校 85.0% 中学校 80.0% 実績 小学校 79.6% 中学校 67.4%	小学校 85%以上 中学校 80%以上

点検評価

3

⑤人権教育の推進

- 自尊感情を高め、互いを認め合い支え合う共感的な人間関係づくりや、人権に関わる課題の解決をめざした、一人ひとりを大切にする人権教育に取り組んだ。
- 各学校において、人権教育年間計画を作成し、人権を基盤とした学校づくりに取り組んだ。
- 香南市人権教育研究協議会へレポートを提出し、具体的な事例について話し合いを行った。

【成果】

- ほぼすべての保幼小中学校から具体的なレポートの提出があり、充実した研究大会の開催ができた。

3)-⑤の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
人権教育について計画的に実施することができた学校数	100%	目標 100% 実績 100%	100%
いじめが解消した割合 (いじめが解消した件数/いじめの認知件数)	小学校 67.3% 中学校 90.9%	目標 小学校 70.0% 中学校 90.0% 実績 小学校 78.7% 中学校 76.2%	小学校 90.0%以上 中学校 92.0%以上

点検評価

3

⑥健やかな体の育成と健康の増進

- 家庭や地域と連携して「早ね 早おき 朝ごはん」など基本的な生活習慣の定着を図るよう取り組んだ。
- 発達段階に応じた適切な性教育や保健安全指導を行い、健康づくりにおける自己管理能力の育成を図るよう取り組んだ。

- 望ましい食習慣の形成に向けた食指導や、市内全校で調理体験教室等を行い、食に関する意識啓発や調理技能の向上を図るとともに、地元食材を使った料理教室の実施などに取り組んだ。香南市食育推進計画に則り、食についての指導の充実に努めた。
- 保護者に献立表や給食だよりの配布及び給食試食会を実施し、望ましい給食への理解を得るよう努めた。
- 栄養教諭等による、食物の働きや栄養指導及び正しい食事のマナーの指導など食育の推進に努めた。
- 小学校5年生対象の朝食づくり教室、中学校2年生対象の弁当づくり教室を実施した。
- 旬の食材等、生産者の心のこもった安心・安全な地場産品を積極的に取り入れ、バランスのとれた献立とリクエスト献立を実施した。
- 小中学校食育推進検討委員会で栄養教諭が「子どもたちに伝えたい食に関するお話 100選」を活用し、子ども達の食品や食文化に関する理解を深める取組を行った。

【成果】

- H29 全国体力・運動能力調査では、体力合計点が小学校5年生・中学校2年生ともに男子で全国平均を上回り、中学校男子においては全国平均を2.8点上回る結果となった。小学校5年生・中学校2年生女子については、全国平均を下回っているが、ほぼ同等となっており、H20年度からの変化を見てみると、小中ともに概ね上昇傾向にある。
- 市が設定する朝食作り等も定着してきた。また、学校独自で食育に関する取組を実施する所属所が増えた。

点検評価
3

⑦特別支援教育の推進

- 障害のある子どもたちに適切な指導が行えるよう、教育環境を整備し、特別支援教育支援員の配置や教職員研修を充実するなど支援体制を整えた。（研修会：2回）
- 関係機関と連携して適切な就学指導を進め、障害の種別と特性に応じた教育課程の編成を行い、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を進めた。
- 効果的な通級指導のあり方を研究し、ADHD（注意欠陥／多動性障害）やLD（学習障害）などの子どもたちの特性に対応した教育を推進した。
- 特別支援学校や専門機関との連携を進め、特別支援教育支援員を有効に活用しながら、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすことのできる取組を進めた。
- 就学前から特別な支援を必要とする子どもへの適切な指導援助を行うため、専門コーディネーターを配置し、教職員の資質向上に取り組むとともに、効果的に子どもの成長発達を支援することに努めた。
- 特別な支援を必要とする子どもに対する早期対応への取り組みとして「いきいき香南っ子相談事業」（就学前～小学校低学年対象）を実施した。
(相談41回、フォローアップ43回)

【成果】

- 相談会や研修会では実践的に学ぶことで保育者の資質向上が図られ、個別の指導計画な

- ど、計画的な特別支援保育・教育の取組となっている。
- 特別支援保育専門職員の研究成果からユニバーサルデザインに基づいた環境の構造化など、特別支援保育・教育における全ての子どもが「わかる」「できる」保育の重要性が広がりつつある。

点検評価
3

4) きめ細かな教育の推進

<p>重点目標</p> <p>①教職員の専門性・指導力の向上</p> <p>②保育所・学校運営の充実</p> <p>③生徒指導の充実</p> <p>④教育相談・支援体制の充実</p>

[取組の概要]

①教職員の専門性・指導力の向上

- 保幼小中がともに取り組むべき課題等について、各主任・担当者会を計画的に実施し、情報交換や指導・支援の在り方について共通理解を図った。
- 各小中学校の学校改善プランに基づく取組を指導・支援することで、授業研究を中心にした授業改善に取り組むとともに、東部教育事務所と連携し学校改善プランを検証することでP D C Aサイクルを意識した教育活動に取り組んだ。
- 市内保幼研究主任会の実施（3回）

【成果】

- 異校種で、学力向上に向けて具体的に話し合いをする中で中学校区で統一した取組について協議することができた。
- 中堅保育士として、自分の立場を自覚して自分の園を捉え直し取り組むことができるようになった。

4)-①の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
授業の内容がよくわかると回答した児童生徒の割合（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合） ¹	【国語】 小学校 85.0% 中学校 63.7%	【国語】 目標 小学校85.0% 中学校70.0% 実績 小学校85.1%	【国語】 小学校85%以上 中学校70%以上

¹ 全国学力・学習状況調査（児童・生徒質問調査）結果より

	【算数・数学】 小学校 87.1% 中学校 60.3%	中学校71.0% 【算数・数学】 目標 小学校87.0% 中学校67.0% 実績 小学校82.9% 中学校56.5%	【算数・数学】 小学校87%以上 中学校70%以上
--	--	--	--

点検評価
3

②保育所・学校運営の充実

- 所属長会・副所属長会等において定期的な協議や研修を実施し、管理職としての経営能力の向上を図った。
- 保育所評議員・学校評議員の配置や、学校アンケート等の実施により、保育経営・学校経営に地域・保護者・児童生徒の意見や評価を取り入れ、子どもたちがより良い保育・学校生活を送れるよう、保育・学校運営の改善と発展に努めた。
また、市の教育方針や評価の視点等を確認し、情報交換や協議を行うための香南市保育所評議員・学校評議員連絡会を開催した。（1回実施）

【成果】

- 香南市評議員連絡会では、中学校区で話し合い、課題等を共有することができた。

4)-②の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の目標数値
学校支援地域本部設置数【再掲】	4校 <small>(1中学校区を含む)</small>	目標 6校 実績 6校	12校
保育所・学校評議員連絡会の開催数	2回	目標 2回 実績 2回	4中学校区
コミュニティ・スクール設置数【再掲】	0校	目標 1校 実績 0校	12校

点検評価
3

③生徒指導の充実

- 全小中学校全学年に対し、年2回のQ-Uアンケートを実施し、分析から児童生徒理解を深め、温かい学級・学校づくりに努めた。
- 生徒指導担当者会及び補導員連絡会で、生徒指導に係る情報交換や問題行動未然防止の取組についての研修等を実施した。

○高知夢いっぱいプロジェクト推進事業「未来にかがやく子ども育成型学校連携事業」として児童生徒の自己指導能力を育成するため、9年間で児童生徒に身につけさせたい力を明確にして、小中学校が共同で、全ての教育活動に生徒指導の3機能を位置づけた取組を組織的にすすめた。（香我美中学校区）

【成果】

○各校で講師を招聘してQ-Uアンケートに関する校内研修会を実施するなど情報の共有と児童理解に活用した。

4)-③の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の目標数値
学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合（「よく行っている」と回答した学校の割合）【再掲】	小学校 50.0% 中学校 75.0%	目標 小学校70% 中学校80% 実績 小学校100% 中学校100%	小学校70%以上 中学校80%以上
学校に行くのは楽しいと思うと回答した児童生徒の割合（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」回答した割合） ¹	小学校 86.4% 中学校 72.9%	目標 小学校90.0% 中学校79.0% 実績 小学校84.3% 中学校75.4%	小学校90%以上 中学校80%以上

点検評価
3

④教育相談・支援体制の充実

- 就学移行期にスマイルサポート支援ファイルを作成・活用し、関係者間の情報及び認識の共有化、保育所、幼稚園から小学校での教育支援の円滑な移行を図った。
- 子どもたちの大切な命を守ることを目的に、いじめや児童虐待に対応する校内体制の整備と見直しを図り、絶えず子どもたちのサインを見逃さない取組と情報の共有化を進め、関係機関との連携をとりながら対応を強化するよう取り組んだ。
- 各中学校区に1名ずつSSWを配置し、子どもの居場所づくりを進め、全ての長期欠席児童生徒への支援をめざして、様々な態様を持つ不登校の子どもたちや保護者への支援や取組を行い、実態に応じたソーシャルワークができるよう学校との連携体制を構築すべく取り組んだ。（本年度SSW4名体制）
- 就学前保護者対象の「こども相談室」小中学校保護者対象の「ほのぼの相談」を開設し、課題を抱える子どもと保護者の支援に取り組んだ。

【成果】

- 各校で特色のあるSCの活用ができた。
- SSWを4名体制にし、配置校を主に中学校区別とすることで、きめ細かい支援体制が構築でき関係機関との連携や強化が図られた。

¹ 全国学力・学習状況調査（児童・生徒質問紙調査結果）より

○こども相談室：91件

ほのぼの相談：来所相談222件、電話相談178件、計400件

4)-④の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
不登校児童・生徒の割合 (不登校児童・生徒数/総児童・生徒数)【再掲】	小学校 1.31% 中学校 5.03%	目標 小学校 0.90% 中学校 5.00% 実績 小学校 1.31% 中学校 5.17%	小学校 0.50%以下 中学校 3.50%以下

点検評価
3

5) 安全な教育環境での教育の推進

重点目標 ①防災教育等の推進 ②保育所・幼稚園・学校の環境整備

[取組の概要]

①防災教育等の推進

- 南海トラフ地震に備えて学校防災マニュアルを作成し、避難訓練などを実施し防災教育に取り組んだ。
- 安全に対して必要な条件整備を図り、事故や災害が発生した場合に備えての危機管理体制を整えるとともに、日頃からの危機管理マニュアルの周知徹底を図り、事故や災害に強い施設や環境の整備に努めた。
- 家庭や地域及び関係機関との連携を密にし、児童生徒や保護者が安心して防犯に関する相談ができる体制を整備し、登下校時における犯罪被害の防止や不審者の校内侵入に対する安全確保の徹底に努めた。
- 保護者や地域を巻き込んだ地域住民参加型の防犯体制を整え、子どもたちに対する犯罪の未然防止に努めた。
- 防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業に関することに取り組んだ。
- 防災アドバイザー派遣事業を3小学校（吉川小学校、野市小学校、香我美小学校）で実施した。

【成果】

- 防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業交通安全に関すること、特に校区の

通学路の状況について、児童が地域の方や関係者と共に調べ交通安全についての意識が高まった。

5)-①の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
多様な状況での避難訓練を計画的に実施できたか。	100%	目標 100% 実績 100%	100%
学校安全プログラムを活用した年間5時間以上の防災教育が実施できたか。	100%	目標 100% 実績 100%	100%

点検評価
3

②保育所・幼稚園・学校の環境整備

- 教育施設等の耐震化を促進するとともに、ゆとりや潤いのある保育・教育の場として、計画的な改修・改築に努め、施設・設備の充実に努めた。
 - ・非構造部材耐震化工事（佐古小学校、野市東小学校、野市中学校）
 - ・校舎大規模改造工事（香我美小学校）
- 新たなニーズに対応する教育施設を計画的に整備することに努めた。
- 教育内容や指導方法の多様化に対応した教材・教具の整備充実に努めた。
- 教育施設の遊具等について、定期的な点検、補修等を実施し、安全確保に努めた。

【成果】

非構造部材の耐震化等、計画的な環境整備を実施した。
機器の導入については、全小中学校のPC室に、児童用PC（2in1）を設置した。

5)-②の指標	平成 27 年度	平成 29 年度	H33 年度末の 目標数値
小・中学校における非構造部材の耐震化	50%	目標 75.0% 実績 83.3%	100%
小・中学校におけるトイレの洋便器化	50%	目標 75.0% 実績 66.7%	100%
通園・通学路の点検を定期的に行ってきたか。	100%	目標 100% 実績 100%	100%
学校内の施設等に関する安全点検が定期的に行ってきたか。	100%	目標 100% 実績 100%	100%

点検評価
3

(2) 生き生きと学ぶ生涯学習の推進

1) 生涯にわたり豊かな心を育む環境づくり

重点目標

- ①ライフステージに対応した学習の充実
- ②生きがいを得る学習機会の充実
- ③現代課題に対応した学習機会の充実
- ④学習施設の整備
- ⑤地域に密着した学習の場の提供
- ⑥生涯学習推進組織の整備
- ⑦情報提供・相談機能の強化
- ⑧指導者の育成・人材活用
- ⑨生涯学習を通じての地域づくり
- ⑩全ての人と共生する生涯学習の推進

[取組の概要]

- ①ライフステージに対応した学習の充実
- 次世代を担う青少年の育成に資するため、各種事業で指導者育成の視点を持って実施した。香我美文化祭での青年が子どもの手助けをして運営した「こども Café」やジュニアリーダー育成事業など。
- 豊かな心を持ったたくましい子どもを育成するため、体験活動や地域間交流を推進した。また、三世代交流事業として、秋に栗拾い大会や1月には新春凧揚げ大会を開催した。
- 青少年健全育成市民会議等の活動の支援を積極的に推進した。
- 香南市補導センターや関係機関との連携を密にした、健全育成活動の充実に努めた。

【成果】

- 平成27年度から新成人による成人式実行委員会を立ち上げ、本年度も成人式を開催することができた。また、オブザーバーとして次年度の成人式の実行委員会に引き続き参加する体制づくりを進めることができた。さらに、次の成人代表も実行委員会に加入してもらうことができ、3学年で実行委員会を構成することができた。
- 夏休み子どもスクールは3箇所で開催し、25講座開催した。
- 各公民館で実施する夏休みの教室は定員オーバーになる状態で実施できた。青少年育成会議の実施する本部事業、各支部事業とも計画どおり実施され、盛況だった。

1)-①の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
夏休み子ども教室の回数（参加者数）	21講座(299人)	目標 25講座(302人) 実績 25講座(389人)	25講座（310人）
三世代交流事業参加者数（凧揚げ）	1,000人	目標 1,000人 実績 1,000人	1,000人

点検評価
3

②生きがいを得る学習機会の充実

- あらゆる機会を通じて市民の学習ニーズを把握し、多様な学習機会の提供に努めた。
いきいきセミナー、高齢者学級、中央生活学級でのアンケート調査実施など。
- 学習情報の収集と提供により、いつでも、どこでも、だれでもが学習できる環境の実現に努めた。

【成果】

- いきいきセミナーは4講座予定どおり実施し、受講者が過去最高の延べ1,650名を記録した。

1)-②の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
いきいきセミナーの開催	4講座	目標 4講座 実績 4講座	4講座
生涯学習人材バンクの登録者数	0人	目標 50人 実績 1人	200人

点検評価
3

③現代課題に対応した学習機会の充実

- 女性団体や高齢者団体等の社会教育団体との連携を図り、ボランティア活動の推進や男女共同参画社会の実現に向けた取組の強化を図った。
- 家庭教育学級や子育て講座などの開設により、家庭の教育力向上を図るとともに社会教育諸団体と連携し、地域教育力の向上に努めた。
- 生涯学習社会の実現をめざし、世代に応じた魅力的な講座・教室の開催に努めた。
- 高齢者が生きがいを持って生活できる環境を整備するため、世代間交流や潤いとふれあいのある学習機会の提供に努めた。
- 人権学習や研修を通して、お互いの人権を尊重する意識の高揚に努めた。
- 家庭・地域や各種団体において人権を大切にする教育の啓発活動を充実するとともに、地域交流の促進に努めた。
- 同和問題をはじめ障害者や高齢者、外国人、H I V感染者等の人権を守る教育を推進するため、学校や地域指導者と連携して、香南・香美子ども人権学習交流会を開催した。
- こどもの権利について認識を深め、未来を担う子どもを大切にする教育を推進した。
- 人権教育推進のために、香南市人権教育研究協議会をはじめ、人権擁護委員会等各種団体との緊密な連携に努めた。

【成果】

- 野市中央公民館の生活学級など各公民館で趣味教養の各種教室が実施できた。
- 野市・夜須中央公民館で実施する高齢者学級は予定どおり実施できた。
- 人権教育研究大会を開催し、保幼小中学校を中心に具体的な人権問題について話し合う機会を設けることができた。
- いきいきセミナー、人権フェスティバル、部落差別をなくする運動など、他課との連携による人権講演を実施し、多くの市民に学習の機会を提供することができた。

1)-③の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
各種教室の開催回数	161回	目標 170回 実績 143回	170回
各種教室の延べ参加者数	4,530人	目標 4,580人 実績 4,675人	4,700人

点検評価
3

④学習施設の整備

- 市民の教養、情報収集の場としての図書館機能の充実を図るため、古い図書を除籍し新しい図書を配架するなど図書の充実や、野市図書館にWi-Fi設備を設置し、パソコン持込で、インターネットを活用できる体制を整えた。
- 図書購入費を総額600万円とし、野市図書館300万円、香我美図書館250万円、夜須図書室50万円配分し購入した。

【成果】

- 図書館の入館者数は、昨年より増加している。
- 各施設は、適切な維持管理を行うことにより長寿命化を目指して管理されている。
- 平成29年5月から地域のコミュニティ活動及び防災の拠点として新築した山南防災コミュニティセンターを供用開始できた。

対策(1)-④の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
図書館の入館者数	68,825人	目標 74,500人 実績 71,131人	80,200人
図書館の貸出冊数	116,714冊	目標 126,500冊 実績 114,523冊	130,000冊

点検評価
3

⑤地域に密着した学習の場の提供

- 公民館活動の活性化を図るため、中央公民館や市民館及び地区公民館等の連携強化に努め、市が進めるまちづくり自治会、まちづくり協議会の事業に協力し、住民に周知するチラシ、たよりを発行した。
- NPO法人みかんネット香南などとの連携により、情報通信技術の学習活動を推進した。

【成果】

- 平成29年5月から地域のコミュニティ活動及び防災の拠点として新築した山南防災コミュニティセンターを供用開始できた。（再掲）

1)-⑤の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
地区公民館等の利用者数	40,622人	目標 41,200人 実績 44,552人	42,000人

点検評価
3

⑥生涯学習推進組織の整備

- 社会教育関係団体の申請をさせることにより活動の把握及び支援の方法を検討する。
- 公民館活動とまちづくり自治会・協議会の活動をリンクさせ、生涯学習推進組織の強化を図る。

【成果】

- 市が進めるまちづくり自治会・協議会が徐々に設立され、活動の幅が広がって生涯学習の推進が図られた。

点検評価
3

⑦情報提供・相談機能の強化

- 市広報、市ホームページ、市民館たより、まちづくり協議会たよりなどを通じて事業・教室の周知を行った。

【成果】

- 図書館が新刊情報を市ホームページで発信することができた。

1)-⑦の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
生涯学習課ホームページ更新回数	13回	目標 20回 実績 35回	50回

点検評価
3

⑧指導者の育成・人材活用

- 子どもの安全を守るため、地域住民による子ども見守りボランティアの育成に努めた。また、講習会も開催した。
- 子どもの読書活動を推進するため、読書ボランティア養成講座や子ども司書養成講座を開催し、また地域指導者の活動を支援した。
- 高齢者や地域の人材を活用した、知恵と経験に学ぶ世代間交流を積極的に推進した。
- 子どもの体験活動を推進するボランティア団体への支援を行った。

【成果】

- 人材バンクは、個々に呼びかけをし、承諾を得て、住民が検索できるシステム構築の取組が進められた。
- 子ども司書養成講座は予定どおり実施でき、想定していた参加者も確保できた。

1)-⑧の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
読書ボランティア等登録者数	76人	目標 100人 実績 93人	100人
生涯学習人材バンクの登録者数	0人	目標 50人 実績 1人	200人

点検評価
3

⑨生涯学習を通じての地域づくり

- 子どもよさこい連合会による「よさこい祭り」「みなこい港祭り」等への参加、また、姉妹都市沖縄県八重瀬町で開催された「Y A E S E 結フェスタ」へも参加した。

【成果】

- よさこい祭りへの参加を通じ、他校の生徒と協力しあうことや、練習を幾度も重ねて本番で踊りを披露する達成感を子どもたちに感じさせることができた。

対策(1)-⑨の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
夏休み子ども教室の回数（参加者数） 【再掲】	21講座（299人）	目標 25講座（302人） 実績 25講座（389人）	25講座（310人）

点検評価
3

⑩全ての人と共生する生涯学習の推進

○生涯学習施設のバリアフリー化に努めた。

【成果】

○夜須運動広場に多目的トイレを新設した。

1)-⑩の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
社会体育施設の障害者用トイレの整備	5/8箇所	目標 6/8箇所 実績 6/8箇所	8/8箇所

点検評価
3

2) 文化の継承と振興

重点目標

①芸術・文化活動の推進

②郷土の歴史・文化遺産の保存と継承

①芸術・文化活動の推進

○文化関係団体との連携を図り、文化祭や美術展の開催、文化サークルによる発表会や展示会の実施を積極的に進め、芸術や文化の振興を図った。

○子ども達に文芸に親しんでもらうため、俳句や詩の作り方教室の開催や岡本彌太文学賞の作品募集をするとともに、土佐一絃琴教室を開催するなど郷土文化の継承と情操教育の推進を図った。

○地域の文化活動を推進し、文化意識の高揚を図った。

【成果】

○各地区で実施する文化祭・芸能大会の開催のほか、香美・香南市合同の芸能大会を開催できた。

○岡本彌太文学賞への作品応募が市内小中学校に定着してきており、児童生徒の表現力の育成や詩・俳句の作成能力の向上につながっている。

2)-①の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
公民館自主事業（舞台・演奏公演）の実施回数	6事業	目標 6事業 実績 10事業	6事業
文化協会支援事業（文化祭・芸能大会等）	14事業	目標 14事業 実績 14事業	14事業
市美術展覧会の入場者数	1,264人	目標1,350人 実績1,249人	1,500人

点検評価
3

②郷土の歴史・文化遺産の保存と継承

- 関係機関と連携して埋蔵文化財の発掘と保護に努めた。29年度も避難タワー建設の為の試掘調査を実施した。
- 香南市文化財センターにおいて、復元された出土品等を公開するとともに、遺跡の調査や公表を通じて文化財の保護意識の醸成を図った。
- 貴重な財産である重要文化財安岡家住宅保存修理事業等の有形・無形の伝承文化の継承保存に努めた。また、学校の社会科学習の場として、香南市文化財センターを活用してもらい、歴史、文化を受け継いでいくことの大切さを学んでもらうことができた。
- 地域の史実や昔話を題材に紙芝居を作成し、香南ケーブルテレビの協力を得て、小学生を声優として動画紙芝居を作成した。

【成果】

- 文化財マップを活用し、史跡めぐりや遺跡説明会、文化財講座などを継続して企画し、市内の文化財について紹介することができた。
- 香我美町では「土佐一絃琴はじまり物語」の紙芝居を作成し、文化協会と香南ケーブルテレビ、地元の子どもたちが一緒になって紙芝居動画を作成することができた。

2)-②の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
文化財ボランティアガイド登録者数	42人	目標 42人 実績 42人	50人
文化財啓発事業の実施回数	7回	目標 7回 実績 8回	10回
小・中学校への出前講座の実施回数	2回	目標 2回 実績 1回	5回

点検評価
3

3) 生涯にわたり親しみ高めあうスポーツの振興

重点目標

- ①生涯スポーツ・競技スポーツの推進
- ②スポーツ環境の充実
- ③スポーツ指導員の養成・人材活用

①生涯スポーツ・競技スポーツの推進

- NPO 法人こうなんスポーツクラブ・NPO 法人 YASU 海の駅クラブ等と連携し、ライフステージに合わせたスポーツ活動を推進するとともに、各種スポーツの普及やスポーツ教室を開催した。
- スポーツ少年団や体育協会等の活動を支援し、競技力向上を図った。
- ツーデーウォークを開催し、ウォーキングの楽しさを広め健康増進の意識を高めるべく募集した。1日目の安芸市コースは実施できたが、2日目の香南市コースは台風のため中止した。
- 南国市、香美市、嶺北地区と合同で行っているエリアネットワーク事業ではヨガ教室を開催した。

【成果】

- NPO 法人と連携して行っている教室や大会は、ほぼ計画どおりの参加者を得て実施できた。

こうなんスポーツクラブ 教室：20事業（延べ461回） 大会：12大会
 海の駅クラブ 5事業（市長杯ヨット大会、シーカヤック競技会、シースポーツ体験、香南ジュニアヨットクラブの育成）

- スポーツ少年団と体育協会の活動については、活動（練習、試合）についての経済的支援（補助金、施設使用料の減免等）を継続して実施した。

県民スポーツフェスティバル 99人
 駅伝大会（市町村対抗） 60人
 四国大会（スポ少） 2団体
 全国大会（スポ少） 5団体
 全国大会（一般） 4団体
 国民体育大会 4人
 世界大会及び国際大会 1人

- 体育協会主催の各地区運動会は、野市地区が雨天による中止以外、4地区で子どもから高齢者まで参加して実施できた。

3)-①の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の 目標数値
市長杯等の参加者数	480人	目標 500人 実績 491人	590人
スポーツ教室延べ開催数	179回	目標 180回 実績 171回	180回
市民ウォーキング大会参加者数	80人	目標 90人 実績 49人	290人

点検評価

3

②スポーツ環境の充実

- スポーツに関する情報の提供や、体育施設や学校施設の有効的な活用を図り、より身近にスポーツを感じる機会の充実に努めた。
- スポーツ施設の改修を行う等スポーツ環境の整備を行った。
(赤岡運動広場防球ネット修繕、赤岡ドーム雨漏り修繕、香我美運動広場照明修繕、野市児童公園屋外トイレ修繕、パークゴルフ場スタート台修繕など)
- 指定管理によって管理が可能な施設を指定管理施設とする。

【成果】

- 西佐古テニスコートの建設に向け、実施設計を行った。(平成30年9月完成予定)
- スポーツ施設の管理について、新たにふれあい広場パークゴルフ場を指定管理とした。このことにより、6施設となった。(野市総合体育館、パークゴルフ場、香我美トレーニングセンター、香我美町民広場、香我美オレンジテニスコート、マリンスポーツ施設)

3)-②の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の目標数値
体育施設(学校開放施設含む)の障害者用トイレ設置数	8/17箇所	目標 9/17箇所 実績 9/17箇所	17/17箇所
ウォーキングコースの設定数	6/10コース	目標 6/10コース 実績 6/10コース	10/10コース

点検評価

3

③スポーツ指導員の養成・人材活用

- 地域スポーツクラブの育成を図り、各種スポーツ指導者の養成と人材の確保に努めた。
- スポーツ推進員が地域で活躍できる体制づくりを行った。

【成果】

- 新たに数人がスポーツ少年団認定指導員資格を取得できた。
- スポーツ推進員が地域の運動会や駅伝大会に核として協力できた。

3)-③の指標	平成27年度	平成29年度	H33年度末の目標数値
スポーツ少年団認定指導員資格取得者数	64人	目標 69人 実績 73人	75人

点検評価

3
